

# 令和4年6月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 令和4年6月23日(木) 午前8時58分  
役場3階 大会議室
- 2 出席委員 北村教育長 松尾委員 堤委員 川崎委員 一ノ瀬委員
- 3 事務局職員 出雲学校教育課長 谷崎生涯学習課長 梅木主任指導主事  
永石学校教育課課長補佐 吉村学校教育課課長補佐  
永尾生涯学習課課長補佐 喜多指導主事 川畑教育総務係長  
今福学校教育係長 本山新しい学校づくり係長  
池田新しい学校づくり係長 山口学校給食係長 下平指導主事  
稲富生涯スポーツ係長 前田主査
- 4 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 5 会議に附した議案  
附議第35号 準要保護の認定について
- 6 動議の提出者 なし
- 7 議事の概要 別紙資料のとおり
- 8 議決事項 附議第35号議決
- 9 その他
  - ・事務局からの報告
  - ・傍聴者 なし

1 開 会 8:58

出雲課長

2 前回議事録の承認 8:58

5月定例教育委員会の会議録を資料により説明

**委員全員承認**

3 教育長の報告 8:59

(前回以降の主な動向)

資料より数点を内容紹介。

5/26 夜間中学に関する意見交換会

県立での設立の方向ですすすめられている。

6/10 福富中1学年農業体験<スイートコーン種蒔き>

6/12 「ボッチャ」講習会

(午前:白石・福富地区、午後:白石・有明地区 各社会体育館)

6/15 第1回歌垣の郷ロードレース実行委員会

6/18 青少年健全育成町民会議総会・研修会

研修会講演より、人権のまちづくりに必要な視点として、「素直な子どもの目線で社会を見つめ、矛盾に気づいて社会の営みを見直していくこと。」

6/21 町教委学校訪問<六角小>

(杵西・藤津地域教育長会 6/10 より)

資料により概要の報告。

・令和4年度県標準様式による「いじめに関するアンケート調査」実施要項

・令和4年度自殺予防に関する研修実施要項

・令和4年度 宿泊体験(北山少年自然の家)募集要項

・交通事故発生(加害等)状況調べ

小3件、中4件の計7件。

・新聞記事より

教員免許更新7月廃止

(その他)

資料により説明。

・令和5年度佐賀県公立学校教員採用選考試験の受験状況についてお知らせします

(佐賀県教育委員会プレスリリースより)

・熱中症と公務災害の認定(内外教育より)

- ・不登校傾向を早期発見（日本教育新聞より）

#### 4 連絡事項 9:14～

##### (1) 2022年度夏期巡回 ラジオ体操・みんなの体操会について

稲富係長：資料により詳細説明。

開催期日2022年7月27日（水）午前6時から、白石町総合運動場において開催。荒天の場合は中止、参加にはWEB又はハガキでの申し込みが必要で、6月27日までが申込期限。6月19日現在の申込状況は、361名の申込状況となっている。

（全委員承諾）

##### (2) 問題行動月別報告について

喜多指導主事：資料により詳細説明。

不登校の状況として数は多くなっている。いじめの報告は、小学校2件、中学校3件。

一ノ瀬委員：教育長の報告でもあったが、別室登校の子がリモートで教室の授業をそのまま受けられるというのが、すごく効果があがっているということ、を中学校より聞いており、いい環境が整っていると思った。

（全委員承諾）

##### (3) CSW（キャリア・スタート・ウィーク）について

喜多指導主事：資料により詳細説明。

今年度は、夏休みの時期に実施することになっている。8月24日、25日、26日の3日間であり、事業所にも確認をさせていただき110前後の事業所が受入れ大丈夫と言っている状況である。学校の方でも生徒にどの事業所にと決定されている。昨年度は、コロナの感染急拡大ということで残念ながら途中で中止ということとなったが、今年度はできる限り実施という方向で動いている。

（全委員承諾）

##### (4) 新設中学校の制服、校章について

本山係長：資料により詳細説明。

検討委員会、制服メーカーと検討を行い、現在、3パターンの制服のサンプルが出来上がり、6月16日から小中学校11校を回っている状況である。また、福富ゆうあい館、有明公民館、役場にも展示し、アンケートを実施する。そのアンケート結果をもとに最終新しい学校づくり準

備委員会で決定したいと考えている。校章については、99名の方から129案の応募があり、5月に校章選定委員会を開催した。選定委員については、各中学校の美術の先生にお願いし5案を選んでいただいた。この5案の中からまたアンケートを実施したいと考えている。このアンケートの対象については、中学1年、2年、3年、小学5年、6年を対象に実施し、その結果をもとに新しい学校づくり準備委員会で決定したいと考えている。

北村教育長：確認だが、スラックス、キュロットも選ばれたチェックのパターンになるのか。

本山係長：そのようになる。スラックスもAタイプ、Bタイプ、いわゆる男子体型、女子体型、キュロットも用意します。ネクタイもリボンも自由に男女関係なく選択できるようにしている。

川崎委員：ネクタイは、簡易タイプだったでしょうか。

本山係長：引っかけのタイプを基本としているが、肌に当たるのを嫌がる子もいるため通常のネクタイも選択できるようにはしている。

一ノ瀬委員：ご近所の方とか小さいお子さんをお持ちの方は、いずれ自分の子もという思いで、すごく関心を持たれている。ゆうあい館の展示でどのくらい見に来られたのか。

本山係長：福富ゆうあい館では、50程アンケートは出してもらっている。

堤委員：制服の選定はそれでよいが、実際学区が広くなりかなり遠方から通学される、5キロ、6キロとかを通勤する子が増えて、このスラックスで自転車登校する。近い子はいいが、実際のところはどうか。子ども達は体操服で通学したり、ポロシャツで登校したりということで、実際に自転車で5キロも6キロもこげる服装かというところちょっと気になる。

川崎委員：今も帰りは、部活服とかで帰っていて、部活の子の方が多くないか。

堤委員：朝はどうか、制服か。

梅木主任指導主事：朝は制服です。

堤委員：白石中学校は同じであると思うが、特に有明、福富の子は、かなり通学距離が長いという子がかなり出てくるので、簡易的な何かを検討した方がいいのでは。制服は、元々礼服的な意味合いが高いかと思う。実際に動くというコンセプトでは作られていないところもある。

出雲課長：収縮性はかなりあったかと思う。

本山係長：現在の素材に比べればかなり良くなっている。

堤委員：中学生が、なかなかこのような格好で4キロ、5キロを自転車というところと厳しいかを感じる。

本山係長：素材はオールシーズンとなっているが、夏用ということで涼しい素材を

オプションで準備したいと思います。また、学校の方とも話をしたいと思います。

(全委員承諾)

(5) 小学校再編について

本山係長：資料により詳細説明。

教育委員との打ち合わせを経て、議会文教厚生常任委員会との意見交換、総合教育会議、議会全員協議会での説明、住民説明会等を経て、小学校再編計画を策定するまでの流れを説明。

出雲課長：少子化が急速に進んでおり、複式学級も見えてきた、少子化に反比例して特別支援学級の児童生徒の増加などの課題を議会の方にも説明し、議員の皆さんの方でも話合をしたいということで、話合を設けておられる。教育委員会としても将来を見据えたたたき台を作って、皆さんの意見をお聞きし計画案としたいと思っている。

(全委員承諾)

(6) 町議会定例会における教育委員会関係一般質問について

出雲課長：資料により詳細説明。

2名の議員から質問があり、中村議員からは、熱中症対策、中学校統合の進捗状況。友田議員からは、自治体DX推進について質問された。

(全委員承諾)

(7) 7月行事予定表

川畑係長：資料により行事内容説明。

(全委員承諾)

(8) その他

出雲課長：7月に臨時議会が開かれます。臨時議会では、中学校の増築する校舎の契約事項で開いていただくことにしています。この時に予算関係の補正も学校教育課と生涯学習課で計上している。今日お示しできなかったのが、まだ事業費が確定していないということで資料の準備ができておりません。内容として、学校教育課が給食センターの建築に係る部分です。今年度と来年度のトータルで事業費を示して予算要求をしていたが、詳細に詰めていく中、また単価の改訂がありその見直しで、トータルで数億の増となります。そのための補正予算を進めているところです。

谷崎課長：コウノトリの営巣についての今後の対応により発生してくる経費の関係で7月の補正予算の要求をする予定であり、これまでの営巣活動（別添資料）の経緯を見ていただきながら説明。これまで営巣のモニタリング産卵の確認に伴い看板の設置などしてきた。今週は孵化想定がされる期間となっており、本日の野鳥の会からの情報では本日の朝、雛の確認をされたとの情報があり今後それを見守っていく。今後、足環の装着、その後は巣立ちまでの期間、予定では9月まで保護活動を継続する。これにかかる経費として、7月の補正で550万円弱の計上を予定している。

松尾委員：現在見学人はどのくらいあるのか。

谷崎課長：ここ1、2週間は落ち着いている。というのも現在卵を温めている段階で1羽は必ず巣にいて卵を温めており動きが少ないのでカメラでの撮影等少ない状況です。

北村教育長：補正予算を計上するようにしているが、今後県の方にも協力をお願いしないといけないと思っている。九州で初めての営巣で、何となく県の方も対応に慣れておられないのか、今のところ町単独で頑張っているところです。モニタリングについても生涯学習課で業務の傍ら行ってもらっているが、負担が尋常でないと思っており、今後全庁的に協力をお願いするという検討も必要かと思っている。

出雲課長：今回資料を提示できなかったため7月に報告とさせていただきたい。  
(全委員承諾)

堤 委員：今年度は町民スポーツ大会を開催する方向で話が進んでいると思う。5年ぶりの開催となるためノウハウ的な運営も大変となると思われるが、それ以上にスポーツに対する考え方が5年でかなり変わっている。数年前にどこかの地区で外国の方が技能実習で沢山来られており、5年前はそこまでなかったが、現在は200名近くいらっしゃる。地域にいる技能実習生の方を町民運動会に出場させて良いのかというような話が出ていた。以前の感覚であれば、自治公民館対抗意識の強い中で、外国人の方でももちろん嫁いでこられたり、婚姻されて世帯を持たれた方が出るのはいいが、そうではない技能実習生の形で、たまたまその行政区内に住んでいて、「自治公民館費も払っていないような方を出場させていいのか。」「いやダメであろう。」というのが昔の感覚だと思う。町民スポーツ大会は、町民全体、外国人含めて自治公民会費を払っている、払っていない関係なく町の行事として全員が対象と思う。そういう方が出場されることに他の自治公民館が色々クレームを入れるというのはおかしいため、わざわざその許可を取る必要があるのかなと思う。このようなこ

とが、出てくるかもしれないし、むしろ積極的に参加して、多文化共生を図るというのが今後のあるべき姿だと思っている。しかし、恐らく公民館長さん方の実行委員会に諮るとまた時代錯誤的な意見が出ることは十分想定できる。そういう話が出るか出ないかは分からないが、その辺りは少し町主導できちんとされた方がいいのではと思う。皆さん20代の若い方であり、選手不足でどこも悩まれている中でそういうところに声を掛けられ、それで交流が深まれば結果的にはいいと思うが、昔ながらの自治公民館同士の対抗意識みたいな流れで話が進んでしまうとあまりうまくいかないのでは、少し検討をお願いします。

谷崎課長：おっしゃる通りだと思う。外国人の方への支援、生活について行政として考えていかないといけないということはごもっともだと思う。総合戦略課の方とも連携しながら、まずは検討したいと思う。そのような方々に御理解いただき是非希望があれば参加いただけるような雰囲気づくりをしていけるようにして行きたい。

永尾課長補佐：江北町でイイダ靴下さんが積極的に成人式等に参加させられている。そういうところは白石町の方も考えないといけない。

堤 委員：町民スポーツ大会というのが、元々自治公民館対抗というところがある。

谷崎課長：どんどん参加していただけるようにして行きたい。

(一時休憩)

## 5 附議事項の協議 10:30～

### 附議第35号

#### 準要保護の認定について

北村教育長：白石町教育委員会会議規則第15条による秘密会議宣言。

前田主査：資料に沿って詳細説明。(1件)

厳正なる審査の結果、認定：1件。

### 委員全員承認(附議第35号)

## 6 閉会 10:48

出雲課長